



富管第47号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

富津市長 佐久間 清 治



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）  
当地域の道路網整備につきましては、平素より深いご理解とご尽力により事業が促進されておりますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号にて依頼のありましたこのことについて下記のとおりです。

#### 記

#### ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

高速道路等の整備計画に併せて、その受け皿の幹線道路として国道及び県道の整備が遅れており、高速道路インターチェンジ入り口付近は同時整備を進めているが、インターチェンジの前後は旧来の道路幅員の現状であり、市街地通過路線では、交通渋滞や交通安全上危険であることや地域の主要な観光資源の有機的な連携や各市町村間相互の中近距離の移動には、国道及び県道の利便性が重要である。しかしながら地域の国・県道は、2車線で屈曲・狭隘箇所も多く、また歩道設置箇所も少なく、ダンプトラック等大型車両通行による歩行者の危険性が極めて高い現状路線を把握し、優先度を付けた路線整備計画の策定による道路改良事業を促進し、県道整備については、補助事業を活用し整備促進すべきものとする。

また、房総南部地域は、東京大都市圏のなかにあつて、恵まれた自然資源を有し、休日や観光シーズンには、レジャー施設や観光施設を利用する多くの来訪者で賑わう地域であるが、袋小路という地理的条件の制約により、産業基盤、生活環境の整備が立ち後れ、若年層の流失による高齢化が進み、青壮年層の農業、漁業離れによる後継者問題も深刻化している。

今後、当地域を活力ある地域にするためには、地域間の交流連携が不可欠であり、それを支える交通基盤、情報、通信基盤、交流拠点施設などの社会資本の整備を積極的に行う必要がある。

このため、広域幹線道路ネットワークの整備が重要であり、東京湾環状道路の一翼を担う東京湾口道路は、半島性の解消、防災及び緊急時の輸送等数多くの役割を持ち、大きな効果が期待できる道路であるので、建設を促進すべきものと考えている。

#### ・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

市街地形成地域の道路整備事業は、区画整理事業等を活用した道路用地確保

では限定されるため、積極的なバイパス手法や居住地の少ない路線区域の改良事業を計画的に策定し、用地取得費の抑制や短期集中投資による効率化を進めるべきと考える。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

国道・県道について、環境改善策として維持補修費の予算化導入により、路面打ち換え補修時には排水性舗装を施工することなどを実施すれば道路排水施設への雨水流入量の軽減、大雨等の交通危険防止対策が図られると考える。

また、市道整備及び街路事業には、補助対象事業や交付金事業を活用することによる道路整備を図ることが、快適な市民生活環境の向上に繋がるものと考ええる。